

田園空間博物館 ガイドマップ GUIDE MAP



主なサテライト施設

1 浮石義民直訴の地



約300年前、大凶作と領主の過酷な年貢取立てに苦しむ浮石村の農民を救うため、庄屋をはじめ5人の義民が自分たちの命と引換えに幕府の役人に直訴を行おうとした場所である。

2 奥野の棚田



厳しい地形と向き合いながら農業を営んできた豊田町を代表する棚田風景。近くには棚田が作られた当時の石垣がそのまま残っている。

3 八道の刳貫堤(くりぬきつつみ)



高低差の殆どない地域で、農業用水を得るための工法を利用して作られたもので、小山を削り貫いて、ため池反対側の開墾田へ用水を引く仕組みになっている。

4 浮石義民旧庄屋宅



浮石義民の一人である庄屋藤井角右衛門の家があった跡地。また、敷地内には当時の資料を展示している浮石義民資料館がある。

5 台ヶ原サイホン



大正時代、台ヶ原の土地は、台地のため十分に水が確保できなかった。そこで、サイホンの原理を利用し、台地に水を引くために大正4年から6年にかけて建設工事が行われた。

6 奥野川ホルタル谷



木屋川の支流の一つである上殿敷奥野川周辺では、かつて農業用水路を改修してホルタルを養殖していた。このサテライト施設は、その養殖場を再現している。

7 館ヶ浴の椿



館ヶ浴という地名は、今から約900年前、豊田一帯を治めていた豊田氏の二代目輔平が館を構えたことからきており、この地の丘に咲く椿は樹齢600年以上と推定される。

8 江良古墳群



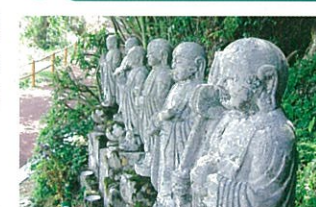
江良古墳群の整備は、「地域の歴史を学ぶ場」として子供から提案されたもので、施設では古墳時代終わりの遺跡が4基みることができる。

9 旧殿居小学校維新分校



明治8年に学舎として設置。昭和10年に殿居小学校維新分校として現在の場所に移転。昭和46年の統廃合後は「維新村塾」、現在は「清流館」という愛称で、外観や内装は新しくなっている。

10 伊藤田の六地藏



かつて堂ヶ岳への参拝道であった道が残っており、その脇に並んで立つ六地藏は昔の農家の人々が、安全を祈願していたと言われている。

国指定天然記念物「木屋川ゲンジボタル」

? 総合案内所 国道
🏠 道の駅 県道
📍 道路案内板 市道
3.5 区間距離(km)

その他サテライト施設一覧表

名称	展示物	名称	展示物
農家の発展を願う「道祖神(殿居)」	歴史・農村風景	大昔から100haの水田を潤す「殿敷大井手堰」	取水堰・水辺
農繁期にやすらぎの光「豊田ホルタルの里ミュージアム」※	棚田景観	田園盆地为望める「長正司公園の藤棚」※	大藤棚
農民を飢えと重税から救った「浮石義民の墓」※	浮石義民墓所	田園とマッチする「赤瓦の高熊農家集落」	農村景観
牛馬厄払い祈願「浮石赤崎神社楽踊(鶏闘踊り)」[4月14日]	伝統芸能	まちの歴史の宝庫「豊田文化財資料室」※	歴史資料室
豊作祈願の伝承「寿式三番叢(浮石・秋葉)」	伝統芸能	舟送り年貢米の貯蔵搬出跡「矢田御米蔵跡」	農業遺跡
御米道と肥中街道の交差点「四辻(中八道)」	景観と年貢米輸送道	豊作祈願「庭田の猿田彦大明神」※	申塚
赤瓦と土管の源「上八道の登り窯」	登り窯	定住した「豊田氏の館跡」※	豊田氏の館跡の碑
本地吉の棚田	棚田景観	特産品がいっぱいの「蛸街道西ノ市」※	特産品販売所
豊田湖畔公園※	用水の貯水湖・交流施設	まちの田園風景が一望できる「霊峰 華山」※	霊峰・町の田園を一望
最新の治水「大河内のパイプライン用水」	用水施設	古墳時代を偲ばせる「穴観音古墳・上燈山古墳」	古墳

※は見学できます。(豊田ホルタルの里ミュージアムのみ有料)

コア施設 総合案内所

- ・サテライト施設の所在地や説明を明確に伝える情報発信機能
- ・豊田の民俗文化、歴史、自然等の説明及び展示
- ・パンフレット、ガイドマップ、イベント情報の配置

